

平成27年度 第11回頸城区地域協議会次第

日時：平成28年3月4日（金）
午後6時00分から
場所：ユートピアくびき希望館
2階 第2会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報 告 事 項

○地区別意見交換会の結果について

資料1

○頸城区地域協議会活動報告会の結果について

資料2

4 そ の 他

5 閉 会

地区別意見交換会結果報告

1 開催要旨

全国各地で、国が推進する地方創生の取り組みが活発化してきている。市町村合併から10年の節目を迎えた今、頸城区の今後のあるべき姿について改めて考えるため、各地区の地域事情を住民の皆さんと行政等が語り合い、地域が考える課題について相互理解を深め、課題解決するためには住民の皆さんと行政等が各々の立場でどう取り組むか、連携して行くべき等の意見交換をする。

2 開催地区・会場等

開催地区	開催日	会場	人数
南川地区	平成28年2月8日	南川分館	23名
大養地区	平成28年2月2日	希望館	21名
西部地区	平成28年2月5日	西部分館	20名
大坂井地区	平成28年2月4日	大坂井分館	18名
明治地区	平成28年2月1日	明治分館	29名

3 開催結果

・5地区合計で、以下のとおり、要望・提案・意見があげられた。

	地域振興	産業	教育福祉	その他	総計
南川地区	7	4	3	0	14
大養地区	5	5	1	0	11
西部地区	3	4	8	0	15
大坂井地区	3	5	8	1	17
明治地区	4	4	4	0	12
合計	22	22	24	1	69

4 分野別の主な内容 別添一覧のとおり

<分野別のまとめ>

◎地域振興分野

- ・ 少子高齢化による人口減少の対応について
- ・ 交通安全対策について
- ・ 防災対策について
- ・ 保倉川放水路について
- ・ 地域コミュニティ・世代間交流について
- ・ 巡回バスについて
- ・ 大池まつりの今後について
- ・ コッペル号について

◎産業分野

- ・ 大池いこいの森について（駐車場・桜の管理）
- ・ 観光振興・頸城区観光協会について
- ・ 犀潟駅南口の開設について

◎教育・福祉分野

- ・ 公民館について（分館のあり方や公民館活動の維持）
- ・ スクールバスについて
- ・ 学校教育について
- ・ 待機児童について
- ・ A E D導入について
- ・ 高齢者福祉（病院への送迎など）について

南川地区意見交換会（平成28年2月8日開催）

●参加者23名

●メインテーマ「地域コミュニティの醸成とあり方について」

No.	分野	意見・提案	要旨	回答
1	産業	●頭城区観光協会について	●頭城区観光協会においてマイクロバスのチャーターについて話があった。どのような運用方法を考えているのか教えてほしい。観光協会に常時置いておき、お客さんがいたらすぐに案内してくれるのか。	●(笠原委員)10人乗りの車があるが、くびき振興会のいききサロンや介護の関係で送迎に使用されている。それ以外の日で予約をいただければ運転手をいれて10名以内で頭城区内の施設を案内できる。電車を利用した駅へのアクセス等にも使っていきたい。
2	地域振興	●交通安全対策について	●2/21に高野医院クリニックの交差点で朝7時半ごろに発生した交通事故について。この交差点で過去2回同様の事故が発生している。松本方面から西福島方面に向かう交差点の一時停止を怠ったことから発生する事故である。セブンイレブンの方から南川方面の県道に向かう車と衝突した。南川方面から来た一時停止標識の見逃しで衝突し、プールの側溝の方に落ちる。セブンから来た車がその衝撃で前の方に進んで、逆にもう一台南川方面県道の方からセブンの方に向かう軽乗用車と二重衝突した。その軽乗用車が高野医院の鉄柱に激突。そこで交通見守り隊の中村さんが事故に遭遇され、左足ひざ上切断した。 ●10年来、南川小学校から教育委員会に対しての申し入れ、町内会長協議会と地域協議会の連名で上越警察署に対する申し入れ、行政等からの申し入れを続けてきた。3年前、新潟県議会における交通対策に関わっている楢井議員にご足労いただき上越警察署に信号機取り付けの申し入れをした。その時の回答は、信号機取り付けについて上越警察署内の10位以内にランクされてきたとのことだった。しかし、今回の事件で2/3に道路課、総合事務所、南川小学校長、地元町内会長、私交通安全協会頭城支部長が現場検証をして、対策を検討した。冒頭に交通課の係長が、「現段階でこの場所は信号機を付ける位置ではない。その他の対策について意見がほしい。」とのことだった。交通課の係長も信号機を付けること以外には前向きであった。松本側の県道から来る車が見えにくいのでサザンカの木を切って見通しをよくして、春先一時停止、横断歩道を塗りなおすこと、標識看板を南川用水から少し前に出すという施策が講じられる予定。 ●信号機がないにもかかわらず、交差点における事故は圧倒的に多い。だが、信号機がないよりあったほうがいいし、10年来申し入れてきた。警察署長等に面会する機会があるが、警察は2年前くらいから信号機を付ける意志でないという旨の回答が変わってきた。やはり力があるのは行政だと思う。警察署に対して強く要望していただき、文書回答していただきたい。	●(関次長)市民安全課を通じて警察に話をしていかなければならないと思っている。文書を出して回答を求めることについては、相談させていただきたい。
3	地域振興 教育福祉	●高齢者福祉について	●母親が週3回病院に通っている。時間的に病院に連れていくのは厳しくタクシーに頼ったりもする。以前にテレビで、地域協議会のようなどころがワンボックスで病院に送迎するシステムを見た。有料だが、タクシーを頼むよりも格段に安い。大きい病院であれば人数もまとまる。病院通いをしているお年寄りが乗り合わせて大きい病院に送迎してもらえるようなシステムがあれば30〜50代の家族からしたら助かる。観光協会のワンボックスでお年寄りの送迎をしているとのことだが、百間町は人口の多い南川にはないのとはどうかと思う。	●(布施所長)どの地区へ行ってもこれから高齢化が進む中で病院への送り迎えをどうするかという同様の意見がある。ただ、実際にはバスは経費が掛かり、なかなか潤沢に回せない実情もある。どのようにしたら地域の足を確保できるか、限られた経費の中でそのような体制を確保できるかというものを検討する公共交通地区別懇話会という会議がある。そこでも検討していくし、地域協議会の委員とも相談する。デマンドバス、タクシーの先進地事例はあるが、なかなか継続しない。経費的な面、運送法の関係で障害があるが、皆さんから知恵をいただきながら検討していきたい。
4	産業	●大池いこの森について	●記念樹の桜について、手入れ・管理が必要。ボランティアを募ってやっつけてはどうか。	●(関次長)すべての会場での意見が出ている。これまで枯れたところを補植したりしているが、なかなか本数が多く、各所有者の手入れの具合によって状況も異なる。遊歩道の関係も含めて観光振興課で管理しているが、現状として十分な管理になっていない。例えば、高田公園の桜についてはボランティアで薬剤を塗ったり、施肥をしている。すべて市がやることも難しい。これから観光協会として大池を目玉にしていこうとすることであるので、この意見を地域協議会、観光協会と相談していく。この秋に第3キャンプ場のところで一部、肥料をあげたり、腐った枝を切ったりした。来年の春は桜が少し良くなるかもしれない。みなさんの力を借りながら何とか桜を元気にしていきたい。
5	地域振興 産業	●人口減少と地域振興について	●上越市は少子高齢化と人口減少が進んでいるとのことであった。息子が南川小学校に行っていたころ、自分の町内会には子供たちが38人くらいいた。最近では16人くらいしかいない。子供は地域の宝であるから、人口減少の原因を調査・分析して対策を取ってほしい。 ●働く場所があれば上越市に定住する子供たちもいると思う。企業団地も余裕があるだろうから、まずは職場を確保してほしい。目に見えた子育て支援をしてほしいし、高齢化については、介護施策も進めていただき、住みよい頭城区を作ってほしい。	●(布施所長)発言のとおり、働く場所がなければ人口増につながらない。先般、太陽誘電が第2工場を新設した際に話をしたのは100人くらいの雇用ができることとであった。第6次総合計画にも入っているが、そのような企業がたくさんあつてここで働けるようにすることは、実際は難しい。景気動向を政策金融高田支店長がいらして話した時に上中越のうちに越後が抜群よいとのことであった。投資意欲がほかの3地区よりも特段に高い。何が原因かわからないがそのような芽があるならば伸びていってほしいし、それについて検討したり、支えるべきは支えていきたい。
6	地域振興 産業 教育福祉	●交通安全対策について ●地域振興について ●観光振興について ●道路整備について	●先ほど出た交通事故について、あそこを通る車は軽自動車が多くスピードを出しすぎている。最低1時間程度、用水路のとおりを通行止め(進入禁止)の措置できないか。 ●経済省の特典で全国308市の元気を統計的に調べたところ上越市は290番目であった。活力がないという評価である。南川地区はそれほど活力がないとは思わないが、上越市全体としてはそのようになってしまったのだと思う。活力あるというのは、仕事をすぐ場所がどれだけあるかというのが大きな要素だと思う。工業団地を十分に活用していただきたい。年に何回か挨拶まわりのように情報を取りに行くといいと思うので、ぜひ元気の企業とより元気になるようになっていただきたい。 ●観光協会は元気が出る要素だと思う。経費をかけなくてもできることは何かを考えていただきたい。例えば、用水の堂について。かつては南川にも堂が住んでいた。堂が住めるようにするにはどうしたらよいかみんなで考えてもらい、頭城といったら堂がどこにでもいるよとされるような観光面での取り組みをしたり、大池・小池を含めて大湊新田開発(ビジターセンターも含む)をトータルで見たときに、この大湊用水をもっと見直すということも必要。保倉川は昔蛇行した地形の跡など航空写真をとるイベントをしたり、このような河川跡はめったにないから、うまく有効に活用してほしい。(くびきの森公園も同じ。) ●せつかく人が住んでいただける環境にあるので、発展していくために近くに買い物できる場所があってもよいのではないか。 ●頭城が発展するためには、いかにして周りの区とタイアップしていけるかが重要。県道新井柿崎線はもっと早くからよくしてもらおう。頭城区全体の交通の便をよくするためには、新井柿崎線の整備を進めていただきたい。	●(井部会長)どの会場へ行っても大池小池の活用と、桜の整備の提案があった。地元の宝をもう一度見直さなければいけないのではないかと提案されてきた。北越急行の社長と懇談した際に、大池の周辺の遊歩道・桜等は非常に売り物にできる資源であるとのことであった。地元から見つめなおして、それらを活用する方法を考えていきたいと思っている。それには、遊歩道の整備、桜の手入れが必要。大池まつりの時期を遅らせたほうがよいのではないかと考えている。第3キャンプ場の利用度が非常に高く駐車場が不足しているということで、市長に何とかしてほしいとお願いし、今観光振興課で具体的に動き始めたところだ。観光協会は2年目に入ったので、地元の資源をいかにして活用していくかということで頑張りたい。地元のみならずも足を運んでほしい。 ●(井部会長)病院への送迎について、今後高齢化が進み、買い物難民等もどのように手当てしてくれるのかという意見である。くびき振興会でサロンをやることも含めてワゴン車を1台もらった。頭城が声を大にして車をもらったが、頭城だけにというわけにはいかないからほかの区でも1台ずつ買おうことができるようになった経過である。それを使って何とかできないかということ、地域協議会の中で議論して何らかの方法を探っていきたい。 ●(井部会長)交通事故について、悲惨な事故であった。地元の皆さんと話をしながら、地域協議会で市にどのような提言をしていこうか考えていきたいと思います。 ●(布施所長)企業誘致をやってくれ、企業回りはどうなんだというご意見。市では産業立地課が担当している。数年前までは企業を訪問したくても受け付けてくれなかった。門前払いであった。アベノミクスになり、少しずつ話を聞いていただけるところが出てきたという話したが、具体的には件数がどこまで上がっているかは承知していない。引き続きぜひ、という意見があったことを担当課に伝える。 ●(布施所長)ショッピングセンターについては、おそらくセブンイレブンの西側のE区画8ヘクタールにどうかということだと思ふ。以前に地区の代表と誘致できる企業を決める計画を作った。その中では、ショッピングセンターも立地できるような計画がされたということも聞いていた。ただ、そこに企業があるかということだが、県の企業局の担当ではそれも視野に入れて誘致したいという話しをしていた。引き続き頑張っていきたいと思ふ。 ●(布施所長)新井柿崎線について、新井柿崎線整備促進議員連盟から毎年積極的に要望していただいている。現在三和まで来ているので何とかこちらまで来るのではないかと期待している。引き続き、議員さんたちと一緒に要望していきたい。
7	地域振興	●防災対策について	●松本町内会が一番困っているのは、30-40ミリの雨で土のう積みを行う必要があることが毎年起きている。常時土のうを積んで準備してある。毎年10年以上要望しているが一向に現状変わっていない。早く何とかしていただきたい。	●(関次長)松本調整池について、平成20年以降雨量が100ミリを超える事例があった場合に調整池付近では道路のグレーチングから水が溢れて浸水被害があることを承知している。十分な対策を一度に取ることは難しいかもしれないが、少しでも改善するよう対応を考えているのでご理解をお願いしたい。
8	地域振興	●世代間交流について	●色々な世代が交流する機会が最近少なくなってきた。運動会をやっても若い人はなかなか出てくれない。今日の意見交換会も30-50代の現役世代が出てくれない。分館の行事でも参加するのは年配の方々。自分でもどのような答えが出てくるかわからないが、このままではいけないと思うので、若い人、子供、お年寄りが交流できる行事を考えていかなければいけないと思っている。	
9	地域振興	●保倉川放水路について	●保倉川放水路について、平成8年に国土交通省がルートを示して27年で20年が経った、平成23年11月14日、南川地区の町内会長が集まって国土交通省高田事務所に来ていただいて住民が要望した。それから5年経った。ルート変更も考えられるので検討するという回答だったのに、早くダメならダメと言ってほしい。	●(井部会長)私は国土交通省の放水路関係の会議のメンバーになっている。昨年2年かけてすべて見直しをしている。野口副市長、学者も入って何回か検討している。検討されているのは、山にダムを作る方法、遊水池を大きくすること、かさ上げをすること、放水路を作ることで5つで絞り込みをしている。絞り込んだものを私ら委員に提案していく。こういう状況である。今度は本腰を入れて国土交通省とやるという意気込みは感じられる。頭城では町内会長協議会も要望を毎年市長に伝えている。早い段階で一つの方向性を出して具体的な取り組みをせよ、という方向でこれからはいきたい。
10	教育福祉	●学校教育について ●公民館事業について	●3小学校1中学校で、進学するときにスムーズになじめているのか心配である。行政としても注視してほしい。 ●公民館利用について、南川は利用が多いとはいえ人口割合からすればそれほど多くないと思う。分館を利用して老人クラブで大会をやろうかという話があるが、予算不足で前へ進まない。バックアップをお願いしたい。	●(石川G長)校長と会議をする機会があるので、情報を得たり、訪問したり目を配ってほしい。 ●(石川G長)公民館事業については、サポーターと担当と相談をさせていただきながら前に進めていきたい。

大瀧地区意見交換会（平成28年2月2日開催）

●参加者21名

●メインテーマ「大瀧地区中心地の活性化について」

No.	分野(部会)	意見・提案	要 旨	回 答
1	地域振興 産業	●観光振興と地域の関わりについて(コッペル、瀧本邸、坂口記念館等) ●大池、小池周辺の桜の整備について	・コッペルのイベントがあっても地域の人たちがあまり参加していない。地域の人たちが良い場所であることを発信しない限り、周りへ発信してもだめ。発信ばかりしても町がしらけているのではだめ。口コミがあって人が集まる。お宝を持っている地域の人々が満足しないで、人を呼び込もうとしてもだめ。頭城区全体から来てもらってイベントを組み、地元住民に堪能してもらってから始めるべき。 ・頭城村時代に植えた大池、小池の周りの桜について、所有者の手入れによって木の生長が違う。どこにあるのかわからなかったり、桜見物をできるような状態ではない。あれだけの本数の桜であるから、整備をすれば素晴らしいものになる。まずは、地域の人に桜を見てもらい、地域から発信していかなければならないのではないかと。	・(関次長)軽便鉄道について、今いただいた意見を参考に地域の方から見に来ていただけるイベントをNPOと共に検討していきたい。イベントの際には防災無線でPRしている。地域の人に来てもらって口コミで広めていき、地域のお宝を見に来ていただけるよう地域や関係者と検討する。 ・(関次長)頭城村で各戸1万円ずついただき植樹をした。その後、一部枯れたものは補植してきた。管理の具合によって生長が違う。観光振興課で管理しているのでもこの意見を伝える。市で全てきれいにするのは難しいが、地域の皆さんの協力を得ながらよくしていきたい。高田公園の桜はエコ・グリーン、緑の少年団等で手入れをしている。手入れをして頭城の桜もよくなれば「頭城の花見」につながるのではないかと。今出た意見は参考にさせていただきます。 ・(井部会長)明治地区でも同様の意見が出た。地域協議会としてもこれから論議していく。先般、北越急行の渡邊社長と面会した際に、大池・小池という宝を有効活用して頑張ってもらいたいとエールがあった。これから取り組みを進めていこうかと考えている。
2	産業	●桜について	・仕掛けの仕方を変えるべき。坂田の池は何もなかったが、桜を植えて何年も経ち、今では立派な花見会場になっている。何かできないのか、観光協会が立ち上がったので期待している。	・(橋本委員)観光協会は立ち上げたばかりで、今年度から実質的な活動に入る段階である。どれをとっても簡単にできる問題ではなく、少しの人でできるものでもない。どのように人を集めるのか、お金が出ればいいのか期待できない。この意見は理解できるとし、ぜひ皆さんに来ていただけるように努力していきたい。
3	地域振興 産業	●コッペルについて	・お宝をこの会でコッペル、瀧本邸を中心に保存活動をしている。レールパークがオープンして10年経過し、状況が変わってきている。地元の人々の関心が低くなっている。昨年10月の一般公開で来場者の方面調査をした。区内が3割、市内が2割、市外が5割であった。市内の人にはPRが足りない。市外、県外からの人が多いのは、テレビに取り上げられて認知度が高まってきているため。鉄道ファンのネットワークでも広がっている。今後さらに人を集めるには、 ①イベント内容の面白さ、目新しさが足りない。「廃線跡を訪ねる」は人気だったが、地元の人に来てもらうために、新しいものを作っていかなければならない。線路を延長してPRするなどしないと先は広がっていかない。 ②近くに飲食店等がない。イベントに飲食は不可欠。出店をお願いするが、種類に欠ける。 ③交通の便、駐車場の確保が難しい。道順も分かりにくい。区、市のバックアップが必要。	・(井部会長)コッペルだけでなく、坂口記念館も同様。 ・(布施所長)単体だと滞在時間が短くなってしまふ。3つを一緒に解消するのは難しい。坂口記念館も単体だと難しいので、よしかわ杜氏の郷との連携はどうか、コッペルと坂口記念館をあわせて旅行商品に組み込むなど工夫がある。一つひとつをつなげて、魅力を作り出す仕掛けとして観光協会ができた。調整、発信などは観光協会に期待するし、目新しいことなどは、活動支援事業をうまく活用してはどうか。若いサポーターも来ているので協力してもらったり、総合事務所・観光協会にも相談してほしい。一緒に取り組んでいきたい。
4	地域振興 産業	●コッペル等の観光施設について	・コッペルをあの場所において活かすことができるのか。歴史的なこともあるので難しいとは思いますが、坂口記念館、瀧本邸をつなぐにしても障害がある。観光協会に期待している。	・(井部会長)施設単体では限界がある。観光協会をおとして連携をとっていく。観光協会も食と宿泊について検討しており、頭北の観光協会と顔合わせをする予定。仮に坂口記念館の来館者が宿泊する場合、鶴ノ浜に宿泊するような計画ができるのではないかと。北越急行も観光事業の企画立案ができるようになったので、それらを活用しながら頭城のお宝をどのように連結しながら活かしていくのかがこれから考えるべき案策だと思う。それらも含めてこれから検討していく。
5	地域振興	●防災行政無線について	・防災行政無線で身近な地域の情報が流されていない。事務的な放送になっている。頭城区の旬な情報を流してもらえばよいのではないかと。	・(関次長)総務省の免許を受けて放送しているので行政情報に絞って放送せざるを得ない。それでも、可能なものについては放送できるように検討する。 ・(布施所長)防災行政無線は真に伝えるべきものに使うのがルール。しかし、できるだけ総合事務所からのお知らせとして放送するようにしている。地域振興というのも行政情報であるので、何でもというわけにはいかないが、なるべく放送できるようにしたい。
6	地域振興	●防災行政無線について	・放送される内容は録音してあるため、「〇月〇日に〜」という表現の仕方になっている。人を集めたいのであれば、「今日」「明日」というような表現をしてはどうか。	・(関次長)できるだけ新鮮なものを放送するようにしていきたい。
7	教育福祉	●施設管理(希望館脇のタイル)について	・B&Gの公園は広さなどがちょうどよく、多くの人に利用されている。月に1回程度の芝刈りや管理もしっかりされ、いい施設である。ものを作ったあとの管理がきちんとされることが大切である。サッカー場、野球場はきれいだが、テニスコートは人が来ないため管理がよくない。希望館ができた時に作った道路の脇のタイルに苔がびっしりと生えており、だれのものかわからなくなっている。これはひとつの売り物であったのだから、見えなくなっているのは残念。ボランティアを募集してでもきれいにしていく必要がある。	・(石川グループ長)テニスコートの管理が不十分であることについては担当と話しをする。手がまわるところ、まわりきらないところがあると思うが、このような意見があったことを伝えながらやっていきたい。 ・(布施所長)タイルは、希望館ができた当時(平成3年)1家庭1枚ずつ作った。行政ではなかなかできないが、当時の人の思いが詰まっているものだからこそ呼びかけたりすることはよい提案だと思う。検討して、皆さんにお諮りする。
8	産業	●事業の絞り込みと大池、小池の整備について	・観光協会が設立されて活動されているが、予算等はすでに決められている。ある程度頭城区でやりたいもの一つか二つに絞って、力がついたら次に取り掛かるというようにしないと全部に手を出してダメになってしまうのではうまくない。大池、小池は桜やアスレチック、昔は食堂もあった。今は道路、駐車場も整備されていない。まず、大池、小池関係でよく考えて、検討して欲しい。	・(井部会長)大池の駐車場については、町内会長協議会で昨年11月に市長に要望書をあげた。市長からは、要望に応えていきたいということ、まだ具体的には予算化されていないが事前にどのような規模の駐車場が必要であるのかと打診が来ている。市と相談して検討していく。また、事業への取り組み(何に絞って取り組んでいくかということ)は、ご意見のように一つに絞って何ができるかということも含めて検討させていただきたい。宿泊施設がないのが最も残念である。ビクターセンターを上手に使えるようになればよいが、その辺はこれからビクターセンターの皆さんとも話をしていかなければならないと思っている。

西部地区意見交換会（平成28年2月5日開催）

●参加者20名

●メインテーマ「地域コミュニティのあり方について(分館の活用方法について)」

No.	分野(部会)	意見・提案	要旨	回答
1	産業	●頭城区観光協会について	・観光協会の収支計算書について、市からの補助金288万円と少しの収入で全体の収入で324万8千円となっている。今後自立の見通しは何年後か。	・(井部会長)見直しは3年。元気の出る事業の市の補助金は3年となっており、そのほとんどが人件費。2年目、3年目で0になる。3年後は自主財源でやっていかなければならないが、それをどのようにして作るかを勉強している。ぜひ、知恵をいただきたい。
2	産業	●頭城区観光協会について	・観光協会は主にソフトかハードか。 ・今までもやっていた大池のまつり、雁金城、コッペル、瀧本邸については、どのようにリンクして、どのように費用負担しているのか。例えば、観光協会はチラシを出し、実際の事業は各団体がやるように分けたほうがよいのでは。これまでやってきたのとどのように違って、どのようにリンクしているのか。 ・総合事務所には目的のある人しか行かない。観光パンフレットなどは人の集まる希望館の一角においてはどうか。 ・観光協会の研修視察について、写真だけ掲載するのではだめではないか。広報の作り方をと工夫すべき。	・(井部会長)ソフトとハードは一緒にやらないと事業推進できないと考えている。 ・(井部会長)今までは各組織がPR集客をしてきた。観光協会を立ち上げたからには、それぞれがバラバラでは観光について全体が見えない。今一生懸命やっているのはみなさんと連携していくことで、それと同時に結びつきをどのように作るか。コッペルへ行ったら坂口記念館に行く、瀧本邸に行く、そのような結びつきをどうするか。北越急行の渡辺社長と懇談したが、頭城のよい自然環境、歴史遺産については一緒にやりたいということであった。自前でできるような体制を作らなければならないので頑張っていきたい。 ・(布施所長)希望館の一角に観光パンフレットを置くのも選択肢としてありうる。ただ、今のところは観光協会のあるところにパンフレットがあって、その場で対応できるワンストップの観点からそこにおいてある。人の集まる場所に置くというのは今後の検討課題である。 ・(笠原委員)全戸配布しても見ていただけているのか、なかなか参加してもらえない実態がある。自ら参加してもらわないと絵に描いた餅になってしまう。ぜひ、自主的に参加する形をとっていただかないとなかなか実態が伴わないということになるので、今後よろしくお願ひしたい。
3	産業	●観光振興について	・観光のターゲットはどこにあるのか。瀧本邸に子供は来るか。子供と一緒に親が来る、そういうようなものを入れてはどうか。	
4	教育福祉	●公民館分館について	・分館は当初使用料は無料だった。だから子供たちは卓球等しに来ていた。今は料金を取るようになり、会議でしか使えなくなってきた。昔は球塾などいろいろやっていた。合併して、財政面から使用料金を上げてきている。統合や廃止という話しもできている。この分館は廃止の区分になっているのか。避難所にもなっている。将来的に廃止の方向になるのか。	・(布施所長)大坂井でも同じ意見が出た。公の施設の再配置の指針が昨年2月に公表され、地域コミュニティの核としての施設を公民館として利用しているところについては地域の皆さんとよく話し合いのうえ、今後のあり方を決めていくという内容である。廃止しないとも、廃止するとも言っていない。 ・(井部会長)2年前に市から地域協議会に分館の統廃合の提案があった。頭城区地域協議会としてそれはまかりならないとして、少なくとも頭城のやっている公民館分館活動というのはすばらしいものであり、地域の核になっている。市が提案して平準化したいということになれば、頭城の取組を市全体に波及しろと訴えてきた。その結果として2年間動きがなかったが、先般、地域協議会に教育委員会が来た。廃止という言葉は一切ない。これまでの立場を大事にしていきたい。
5	地域振興 教育福祉	●地域活動支援事業について ●地域コミュニティについて	・地域活動支援事業について採択しているのは地域協議会の委員であり、所長とも話をしたが、分館のグラウンドは天気が悪い時には使えない、クローバーがはびこって乾きが悪い。土盛りをしてもらえないかとお願ひしたが、これは分館のものだからダメだといわれた。教育委員会の行政でやるべきだといわれた。調べてみると、他の区では採択されているものもある。 ・屋間は高齢者だけ残っているから、何かをやろうとしても足がない。地域協議会で、デマンドバスがうまくいっているところを視察して、どのように取り合わせるかというのにも必要だ。頭城の実態は、屋間巡回バスに誰も乗っていない。無駄だという声もでている。デマンドバスの有効利用についての検討会もあったのではないかと。三条でうまくいっているところもあるので研修していただき、頭城にあった足をお願いしたい。観光もそうだが、意識の醸成と向上が大変だ。集めるのではなく、集まろうということになれば魅力がなければならないし、それは何だとなると西部だけの問題ではないと思う。	・(関次長)基本として教育委員会の施設であるので市がやるべきところだと思うので当時採択されなかったのだと思う。グラウンドについては町内会長協議会の以前の要望にも出ていた。物理的にはできるが、多額の費用がかかるのであればあまりお金をかけなくてもできる方法はないのかなど、地域と相談させていただきたい。いつまでに整備するということは言えないがご理解いただきたい。 ・(布施所長)市の補助事業がはいっているものに地域活動支援事業をあてははけないというルールがある。同様に市の持ち物に活動支援事業を入れてよいのかという議論もある。区によって違い、曖昧だと地域協議会委員も判断に困る。LED化の補助も同様である。本来はダメ。木田にも整理するように伝えているが、頭城の地域協議会委員はよく整理されているので採択すべきものはきちんと採択されていると胸を張って言える。
6	教育福祉	●公民館分館について	・今日の意見交換会は分館の存続の話かと思つた。分館は西部そのもので、廃止するなどんでもない話だ。分館の活用は年間ものすごい数字である。西部が集まるようになったときに集まる場所がこの分館。子供から大人までこの分館を中心に動いている。そういった中で、無くすなんて意見はどこにもないと思う。手続きが面倒だから、料金を取るとかそんなものは廃止してほしい。より使いやすい場所であるように、使用に関しての不具合は全て廃止してもらいたい。	・(井部会長)それぞれの地区において委員の皆さんと何が課題かと検討してメインテーマを決めた。西部地区は地域コミュニティをどのように活性化していこうか、そのために分館をどのように活用していこうかと副題がついた。今回は全般に何でもいから出して欲しいというのが基本。大津は中心地の活性化、大坂井においては、高齢者が車にも乗れなくてどうしたらよいかという提案もあった。それは持ち帰ってこれから地域協議会の中で議論をしていく。市にも提案していく。 ・(布施所長)使用について大坂井でも同じ意見が出た。利用料については改めて皆さんに示す手段を考える。申請についてはそのとおりだが、公金が伴うものについては適正にしなければならない。無料で使用する場合は方法については持ち帰って検討させていただく。公共施設予約システムでできればよいが分館はできない。皆さんの意見はよくわかるので知恵を絞りたい。
7	教育福祉	●公民館分館について	・減免の場合、メールで送ってはだめか。	・(石川G長)申請者の印鑑を求めているのでファックス等でも可能であると思っているが、確認をして回答する。
8	地域振興 教育福祉	●地域活動支援事業について	・地域活動支援事業の公益性、必要性、実現性、参加性、発展性がある。25年度は提案事業が少なく追加募集をしていた。26年度は倍以上の提案があった。27年度は10件ほどしか出ていない。追加募集が出た。支援を受けているところは地域活動支援事業の採択は無理だということだが、西部分館のグラウンド整備については、6町内が集まって署名活動でもして陳情すれば何とか通るものなのか。年2回の草刈など整備を丸ごとになっているが、運動会や収穫祭で雨が降られると水はけが悪くためだ。ぜひやってもらえないとどうにもならない。上へ通ずる方法があれば教えてほしい。	・(井部会長)2人からの意見を聞いたので、地域協議会の中で議論させてもらう。ただ、710万の支援事業ですべて対応できるようなものでない気がする。そうなるかどうかの方法がよいのかは検討してもらわなければならない。持ち帰って議論させていただく。
9	地域振興 教育福祉	●スクールバスについて ●巡回バスについて	・西部地区の子供の送迎バスについて、下中島と米岡が朝すく早い。7時15分、犀潟駅でかなり待って、それから城野野へ行って松橋へ行く。今のバスの運行はJRの時刻表に合わせて走っていると聞いた。冬はスクールバスでよいが、夏はものすごく早い。学校へ行っても待たなければならない。教育委員会でもう少し工夫していただけないか。	・(石川G長)スクールバスをどのように回していくのかは毎年考えている。この意見は次回のバス運行表作成時に検討したい。希望通りにいかは約束できないが意見があったことは考慮させていただく。
10	教育福祉	●待機児童について ●AED導入について	・待機児童はいるか。 ・風のうわさで聞いたが、「待機児童がいるから、奥さん育児休暇なんだから動いてくれない?」という話を聞いた。あり得ない話だ。育児休業は法律で認められている。待機児童はいない。どこかで羽が生えたのか。しっかり確認していただきたいし、先生方にもアドバイスをしていただきたい。 ・公民館にAEDを入れてもらえないか。	・(石川G長)市内に待機児童はいない。第1希望の場所に添えない場合もあるが、空いている保育園を説明し入っていただいている。 ・(井部会長)地域活動支援事業で提案してはどうか。
11	教育福祉	●AED導入について	・AEDの提案が採択された場合、保守点検はどうなるのか。見てもらえるのか。 ・多い集落であればよいが、世帯数が少ない。保守点検もかなり高い。	・(笠原委員)下吉は財団支援事業の70%補助を受けて買ってもらった。保守点検は町内で契約している。 ・(笠原委員)命に代えられない。いろいろな工夫があると思うので議論していただきたい。
12	産業	●犀潟駅南口の開設について	・犀潟駅南口の開設について、どの辺まで動きがあるのかわかる範囲で教えてほしい。	・(関次長)陳情や町内会長協議会の市長要望もいただいた。27年度の4月にも一度回答させていただいている。例えば南口の階段をあがって向いのホームに渡る横断橋の延長はどうかとか、直江津駅のようにするとか、歩道を付けるのはどうかということでもJRに聞いてもらったが、JRも歩道を付けるのは認めないとのこと。また、南側に入口をつけて今の横断橋を延長して結ぶという案も難しいとのこと。……高田駅の西口もやっていない。ほかのところもあってなかなかすぐできるとは言えず難しいと回答させていただいた。また、去る11月、町内会長協議会から市長に地下を掘って歩行者と自転車のみでも通行ができるようにとの要望があった。交通政策課からJRに伝えているが、4月になると思うが回答させていただくことになると思う。

大坂井地区意見交換会（平成28年2月4日開催）

●参加者18名

●メインテーマ「地域コミュニティのあり方について(分館の利用促進と管理のあり方)」

No.	分野(部会)	意見・提案	要旨	回答
1	産業	●米山、大池、上田市へのPRについて	<p>・米山は角度によって様々な表情を見せる。(朝、昼、冬などでも違う)観光協会が「私が一番自慢できる米山スポット」というように募集をしてはどうか。冬はここから見るよ、など。絵を描く人、写真撮る人、短歌を書く人などいっしょに、観光協会でもまとめてはどうか。妙高山よりよいのではないかな。特設区、吉川区と連携してもよいのではないかな。</p> <p>・大池は景観100選に選ばれており大正山から見る景色はすばらしいが、今はそれが生かされていない。昔は小学校で遠足に行った。観光協会として資料に載っていないが見落としていないか。雁金から見るよりも大正山から見るほうがすばらしい。大正山からは大池を見ながら妙高山も見える。お宝だと思ふ。</p> <p>・上田市から真田丸の割引チケットが来たが、逆に上田市からは発信しているのか。群馬県沼田市の沼田城は真田幸村のおじが入っているが、沼田との連携はどうなっているのか。池波正太郎氏の真田太平記という本を読んでいるが、そこに下三分一という地名が出てくるが吉川区には古戦場という地名がある。掘り下げていけば、もっと上田の真田丸が楽しみなってなるのではないかな。</p>	<p>・(笠原委員)頸城区における年間の四季の写真コンテストを観光協会と検討している。みなさんから教えていただきながら、発信していくことを考えている。</p> <p>・(岡次長)大池いこいの森の話題については明治地区、大池地区でもあった。桜の管理については、見ごたえのあるものにしていくために住民の皆さんと話し合いをしていく。散策道は26年度に一部を整備をした。町内会長協議会からの市長要望においても大正山までの遊歩道に整備が足りないのではないかな。小さいのではないかなという意見もいただいた。第3キャンパスの駐車場が狭いという意見もいただいている。今後市としても、観光協会と観光協会とも連携させていっていただきながら検討していく。雁金城の展望台から大池を見た景色は感動する。散策道の整備については、市だけでなく地域の方々と一緒に何かできないかということも検討していきたい。</p> <p>・(布施所長)水族館、フェリー等の割引は行ったことがある。ただ、このような連携は大切であり、さらに工夫をしてほしいという意見だと思ふので、担当に伝える。</p>
2	産業	●米山、大池、上田市へのPRについて	<p>・自分の地域をどうにかする、楽しいとかきれいとかという思いがないとだめ。地域を元気にするとよく言うが、元気がない人に元気をだすといつてもだめ。元気がいいのは女性と子供。</p> <p>・自分より大きなものを見ることで自分の小ささを感じる。四季折々と異なり、米山と尾神岳のコンビはよい。あなたの大好きなスポットはどこかと聞いたときに、大坂井から見る米山は最高に美人だ。コンテストをやれば小学生もいい着目をするだろうし、嫁に来た人はおっ！？と思うことがある。そのように身近なものを見直すことで元気になる。藤田さんの意見になるほどと思ふ。即実践すれば、子供たちも自分の地域を見直す。それが観光につながる。コッペルと同じようなものがオーストラリアで走っている。なぜ走っているかという、それはすぐいから、いい意見も聞くことができた。</p> <p>・頸北のなかで安く研修のできる施設があるのは頸城だけだ。合併する前から、三和、大淵、神崎にもない。うらやましがられる。</p>	<p>・(笠原委員)(藤田さんの意見に対して)三分一合戦の説明の資料冊子が観光協会にある。石碑があって、どのようにできたかなど。お茶飲みでいいので、観光協会に遊びに来ていろいろな意見を教えてほしい。(藤田さんの意見に対して)自分たちの住んでいるところは当たり前のように思っているが、外から来る人にとってはよい景観である。大池のビジターセンターに設置のワークショップでペンギンボールや広島の人々が治まったときにすばらしいところだと話していた。自分たちの住んでいるところが当たり前と思ふ、もっと発信してもらいたい。地元の人からもっと地元を好きになってもらいたい。地元の人を借りればもっと元気になる。よろしくお願ひしたい。</p>
3	教育福祉	●公民館分館について	<p>・地域を元気にするにはひとつのしかけが必要。大坂井分館は元の小学校。大坂井地域には歴史があつて地政学的にも歴史的にも小学校区の中での取組みが大事だ。その証拠に農水も大坂井地区がひとつの核になっている。運動会をやるのも同じ。大樽・柳町と大坂井地区で盛り上がる。振興会があるが、そこを元気にするのが最もよいし、そこが核だろうと思ふ。利用者が少ないからやめようじゃないか、建物は要らないんじゃないかという意見があつた場合、核が無くなってしまう小学校があつたということも忘れてしまう。歴史が無くなってしまうということである。全国的にも人口をどうするかという話は、子供会が利用することが核だと思ふ。子供たちの喜ぶようなことが核になる。地域を元気にするには、それぞれの小学校区を大事にする以外、頸城としては方法はない。</p>	
4	教育福祉	●公民館分館について	<p>・分館の利用にあたっては希望館に届けを出して利用料を払うことになっているが、この分館の使用離れが始まってきている。子供会でも会合があると、分館を利用せずに柳町の振興センターを使う流れになっている。分館を利用しづらい傾向になっている。地元住民が使うときは無料にしたり、簡素化した手続きの中で利用できる形をとってもらわないと使わなくなるのではないかな。</p> <p>・農協の会合も分館を利用せず、振興センターを利用していた。分館がありながらも地域が使いにくくなっているのが現状である。</p>	<p>・(石川長)飲食など会の趣旨に反するものでなければ基本的に子供会の利用は無料である。手続きについて、市の施設を利用するには一度は申請書を出していただくのがルールになっている。希望館が総合事務所の教育文化グループに申請書を出してもらっている。今の意見をいただき、すぐに簡素化できることではないが、持ち帰って検討する。</p> <p>・(布施所長)大坂井の分館、振興センターは地域の皆さんが集落をまたがって集まるときに核としてご利用いただくものである。そういうものであるにもかかわらず町内会館を使うということになると残念だと思ふ。今までは希望館のみの受付であったが、今回から教育分室を総合事務所に移したので受付できない日はないが、百間町まで来るのは大変であるので何とかするか、持ち帰らせてほしい。よく理解できるが、適正なやり方というところもあるので、できるものかできないものか、検討したい。</p>
5	教育福祉	●公民館分館について	<p>・利用料金の問題や、手続きの簡素化について地元からよい意見が出たのだから、もう少し丁寧に答えてほしい。</p>	<p>・(布施所長)利用料金について地元の子供会が使用する場合は無料であるが、皆さんよく聞かされていないのであれば、また周知を回らせていただく。さらに、手続きの観点については意見のとおりであるので、何かできないか検討して返したい。</p>
6	教育福祉	●公民館分館について	<p>・柳町は利用簿をポストに入れて置き、空き状況を見ながら予約している。</p> <p>・特定の(外部)団体が利用する場合は料金をもらう。地元の人の場合はもらわない。営利目的でなければもらわない。農業関係の研修のために来たものである。</p>	
7	教育福祉	●地域コミュニティと分館について	<p>・大坂井地区の中で柳町と大樽の民生委員をしている。利用料については、ないほうがよいし、最小限に払う場合は仕方ないと思ふ。養父会長が話したように、地域の核であり、災害時の避難所になっている。この場所があるから地区の皆さんも心強いし、安心して利用してもらえる。何としても、統合・廃止は考えたくない。いかにして地域を活性化していくかという前提においても、中心的な核となる集会所、避難指定場所の建物が無くなるというのは考えからしてもマイナス。分館は大事な場所。前向きに存続で考え、利用していきたい。</p>	<p>・(布施所長)先般、教育委員会が公民館の今後のありかたはどうかの説明にきた。地域協議会からの要望を受け説明に来てもらった。公の施設の再配置が昨年の2月に公表され、地域コミュニティの核としての施設を公民館として利用しているところについては地域の皆さんとよく話し合いのうえ、今後のあり方を決めていくという内容であった。ややもすると、今後すべてやめてしまおうかと捉えている方もいるようだが、そうではなく、重要度や地域の皆さんのような思いでやっているか、利用をこれだけしているということも聞いてこれからは決めていく。裏を返せば、絶対に廃止しないとも、廃止するとも言っていない。それは地域の皆さんと話し合った上で決めるべきことだと思ふ。頸城だけでなく、全市同じである。そういうことから、今回の分館の利用促進のありかたをテーマとして、皆さんの思いを強くしていただくというのもこの施設を守る力になるのではないかな。</p>
8	教育福祉	●地域コミュニティと分館について	<p>・大坂井振興会も元気があると思ふ。スマイルボールもやっているし、運動会もやっている。今どき100%集まることはあり得ない。個人の遊びもある中でよくこれだけ集まると思ふ。運動会もそう。そこら辺の考え方を変えたほうがよい。自分たちのところは元気がないと思ふと途端に元気がなくなってしまうと思う。</p>	
9	教育福祉	●地域コミュニティと分館について	<p>・若い人は車を運転してイベントなどどこどこでも行けるが、年を取ると気持ちはあつても交通手段がない。地域を元気にするのは若い人、子供だけでなく高齢者もそう。最近の人は若くて、様々なことに挑戦している。そういう人の力は別な面から地域を元気づける。若い高齢者だけでなく、希望館まで行くならいいやと思ふ高齢者もある。去年の4月から生き生きサロンが希望館で始まった。何人かのお年寄りに紹介をしたが、あそこまで行くならいいや、わざわざ迎えに来てもらうまで行かなくていい、という人もいた。もっと元気に過ごしてもらえれば、ちょっと遠い足がでない現実がある。自分たちのすぐ近くには参加者も多くなる。柳町の町内会でも昨年11月から生き生きサロンを始めた。柳町の集落センターを使っているのが皆さんが来れる。近所にこのような施設があれば、みんなが利用できる。そのような方面でも分館は今後もどんどん利用していきたい。地区の元気の拠点としていきたい。</p>	
10	地域振興産業	●地域コミュニティについて	<p>・頸城全体を見るとスーパー、銀行、ホームセンター等が無く、高齢者にとって住みにくい。区としてはどのように考えているのか。車の免許がないと身動きが取れずに、困っている人もいる。今後高齢化が進んでいく中で、買い物できる施設がなければ老人は生きていけない。Aコープも無くなった。今後考えていかなければいけない。</p>	<p>・(布施所長)本当に深刻な問題である。頸城はほかの区に比べてまだよいほう。大島ではやまざくらが軽自動車を買って店を出している。中山間地だと、息子さんとT字型のつながりを再構築しなければ成り立たないというところから取組をしているところもある。今後の課題ということで、行政だけでなく、地域みんなが危機感をもって臨む課題である。一緒にがんばっていききたい。</p> <p>・(井部会長)(岡沢さんの意見に対して)1/3は高齢者になっている。これからもっと進む。買い物難民に対する対応はどうしたらよいかというのは、深刻な問題である。三和振興会では車を用意して買い物に行くときは乗ってもらうことをやっている。それがよいのかもよきめて、地域協議会の中で自主審議を含めながら市長に意見書として出すのか、元気の出る事業としてやるのか、審議の中でこれからの方向性を出していく。</p>
11	地域振興産業	●地域コミュニティについて	<p>・規制緩和など政治の問題もあつて商店街がなぜ衰退するかという、コンビニに移ってお金は地方へ行ってしまふ。私たちがこのままいいのかがということも考えなければならぬ。自分たちの問題である。ハローツウみたいな吉池が無くなって困るから町内会長が中心になって頑張った。この問題はこのまま行っていないのかなというところだと思ふ。</p> <p>・敬老会をやる時にお菓子を全戸にまわって配るが、今はインターホン社会になっている。若者が家を建てるとインターホン社会で鍵もかかっている。地域のクラブ、集落センターでお茶飲み会をはじめたが、もっと早く始めればよかったと思ふ。どんどんやることで体を動かしたり、駐在さんから講話を聞いたり。市から補助金をいただいて非常にありがたい。</p>	
12	地域振興教育福祉	●地域コミュニティについて	<p>・高齢化になって人口が減っている。市として元気にするためにどのようなことを考えているのか。どうしたら人口が減らないかなど、話をするのか。</p> <p>・高齢者の免許については認知症のテストなどが課されるようになってくる。そうするとますます高齢者が外に出にくくなる。ストレスがたまるようになってくる。若い人がいなくなるから、都会へ行って地域をよいところを宣伝したり、空き家を改造したりしているところもある。</p>	<p>・(布施所長)市では総合計画があつて、あるべきまちの姿がいきいきと暮らせるまちである。いきいきというのは、生きがいをもって生きるということであり、健康でなければいけない。具体的に個々のものに着目して進めている。高齢者が介護予防でふれあう場を作るために地域ささえあい事業をやったりしている。公民館事業についても人材育成をやってもらうようにお願いしている。高齢化が進んでどうしていいかわからないのも公民館で学んでほしい。ある分館では、タブレットを数台用意して、ネット通販で買い物に対応する講座をやっているところもある。いろいろな知恵を出し合つてやるよりない。個々について、なるべく皆さんに情報提供なり取組みなりをお願いしている。</p>
13	産業	●大池について	<p>・5月の連休になると大池にはキャンプが盛んになる。どうしてここに来たのか聞くと、口コミで知ってきたという。昔はテント1張りくらいであつたのに、今はテントだらけ。快適にお客さんが利用できないかと思ふ。駐車場も足りないし、片側駐車を行っている。観光協会でも見ていただいて、出店などがあればいいかなと思ふ。どこで買い物をしてきたのか聞くと、ナルスだという。うさ(活用)できないかと思ふ。体協、観光協会と一緒に、マラソンを仕掛けてもいいと思ふ。ほくほく線沿線で仕掛けていけば、松代ののっぺ松代城のようなものを作っているし、ほくほく線を使ってきた人には大会の割引をするなどすれば、ほくほく線も使ってもらえるのではないかな。</p>	<p>・(笠原委員)5月の連休に情報収集に行ったら、東京・大阪等から若い人が来ている。ネットで風景を写して、情報が流れている。若い人はすぐに情報をネットで集めている。九州から自転車まで来ている人もいた。</p>
14	その他		<p>・行政に頼りすぎるのも嫌だ。寺院は大事だ。寺院がいろいろのことを企画していくのも大事だ。</p>	

明治地区意見交換会（平成28年2月1日開催）

●参加者29名

●メインテーマ「明治地区の振興について（公民館活動の維持について、大池まつりなどの今後について、少子高齢化による人口減少への対応について）」

No.	分野(部会)	意見・提案	要 旨	回 答
1	教育福祉	●公民館活動の維持について	・明治公民館南分館活動運営の今後の方向性は、縮小していくのか、現状維持、統廃合になっていくのか。	・(井部会長)2年前に教育委員会から提案があった。地域協議会の意見として、分館の統廃合については触れない。今現在の分館体制が活動しやすいという意見である。経費の削減はこれまでどおり続けていく。
2	地域振興 産業	●大池まつりの今後について	・毎年9月23日に開催している。27年度は9月27日に開催した。毎年農繁期である。駐車場が間に合わない。まつり自体は、にぎわっているもので満足はしている。	・(井部会長)今の意見を実行委員会に伝える。(関連して)坂口記念館の高齢者の利用が増えているのをふまえて、館内の椅子とテーブルを新調したらどうかという話しになった。 ・(笠原館長)2月17日搬入予定である。今後は2月27日より、はとバスが5回ほど来館予定。 ・(井部会長)(大池第3キャンプ場の)駐車場が手狭であることから、町内会長協議会で市長に陳情した。本庁より担当職員が説明に来る予定。
3	産業	●大池いこいの森について	・大池周辺の県道長坂湯町停車場線では、樹木が生い茂っている。雪の影響もあるのか、折れているものもあるので対応願いたい。また、散策道も荒れており景観が悪いので、伐採など整備をしてもらいたい。	・(布施所長)樹木については県に相談済み。散策道についてはキャンプ場、看板設置も含めて観光振興課と相談。住民の皆様と協議、検討していきたい。
4	産業	●大池いこいの森について	・小池周辺の八重桜の樹木に枝折れ等がある。樹木の管理は誰になるのか。手入れをしてもらいたい。	・(布施所長)管理は場所により異なり、観光振興課か、土地改良区である。桜の植栽は当時の頸城村で行った。手入れをどうするかについては、持ち帰らせていただく。
5	地域振興	●少子高齢化による人口減少の対応について	・地域の魅力は地元の人で見つけるのがよい。(それが観光のテーマになる)話し合いの回数を重ねる中で設けていくことが必要であるので、もっと会合などの場を設けてもらいたい。 ・牧中学校に関する新聞報道を見た。地域との4分科会を設け、活性化している。地域活性化については、学校教育の一環として取り組んでいくこともひとつの方法である。	・(布施所長)話し合いの場が必要である。牧区、名立区の事例もある。過去には資金がなかったが、現在は地域活動支援事業の活用も考えられるので事務所に相談いただきたい。 ・(布施所長)毎月校長会があるので、この意見を伝えたい。また、学校運営協議会で取り組むのも方法と考える。
6	地域振興	●少子高齢化による人口減少の対応について	・人と人のつながりを大事にしたい。信頼関係をもってやっていきたい。明治地区は頑張っていると思うので大事にしていきたい。私たちが地元の批判をすることはよくない。例えば、理科教育において頸城区の中島にある地層が見られる山の斜面などは頸城の中でも素晴らしい教育材料になっている。(荻谷畜産の横)また、手入れをしなければ森は良く育たない。そういったことも教えていかなければいけない。(今後の取り組み方についての抱負。)	千名会長の発言に対して同調
7	地域振興 教育福祉	●少子高齢化による人口減少の対応について ●公民館のあり方について	・明治地区の高齢化を弱みを強みに変えていく。この地域のこどもを子供たちにどれだけ伝えてきたか。子供たちが明治地区の魅力を話せるような環境にすることが大事。魅力のあるまちづくりが大切。核家族化によって母親の子育てに対する不安がある。 ・大池まつりは鯉引きがはじまりとなっているので、農作業の一段落した時期に開催が望ましいのではないかと。地域の食文化、伝統文化の伝承が必要。(焼きもちなど)地域の宝をどのようにして掘り起こすか。小学校の児童が減少しているため、3つの公民館を1つに統合して人材を多く集めていけばどうだろうか。	・(井部会長)1月28日に北越急行と意見交換会を実施した。トンネルを抜けると農地の景色が広がり、頸城のすばらしさがある。都会在住者からの驚きの声もある。これを伝え、広めるにはどのようにしたらよいか。大池、小池の散策道の整備や雁金のコースの整備は今後の課題である。いつもの風景で終わってしまうのではだめである。住民の皆様のご提案をお聞きしながら模索していく。 ・(布施所長)頸城区は公民館としてのニーズをサポーターから吸い上げをして事業化している。これが公民館の頸城方式である。人材育成が大事である。皆さんの現場からの提案を希望する。
8	産業 教育福祉	●大池いこいの森について	・八重桜の咲くころに、大池に鯉のぼりを飾るのはどうか。大池いこいの森駅のイメージアップ、アピール戦略を拡大する必要がある。	・観光協会で検討していきたい。大池いこいの森駅北側で地元の人が植栽してきた芝ざくらが3年前後で開花予定。
9	教育福祉	●公民館のあり方について	・絵画教室開催。趣味を生かしての活動が楽しみである。	

頸城区地域協議会活動報告会開催報告

1 要 旨

現地域協議会委員の任期満了に伴う新たな委員の募集に当たり、多くの住民から地域協議会のことを知っていただくため、これまでの活動内容等を報告し、市政への参加に関心がある人材の募集につなげる。

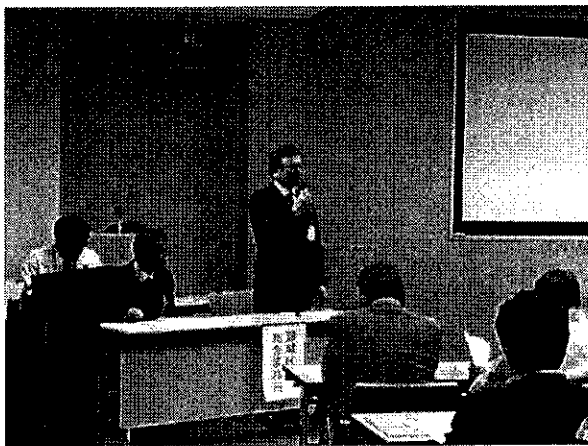
2 日 時 平成28年3月1日（火）午後6時から午後8時まで

3 場 所 ユートピアくびき希望館 第2回会議室

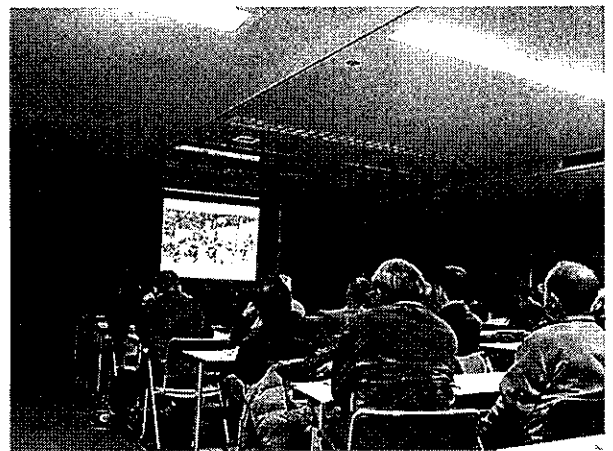
4 出席者数 45人

5 内 容 以下のとおり

- ① 頸城区地域協議会活動報告について
…4年間の活動成果について説明
- ② 地域協議会委員公募に関する手続きについて
…3月9日（水）から始まる第4期委員公募について説明
- ③ 平成27年度地域活動支援事業活動内容発表
…14団体が今年度採択した16事業について、発表



○会場の様子



○プロジェクターを使った活動内容発表

6 質疑・意見 以下のとおり

Q1 協議会委員は全市的に見ても女性が少ない。国も女性の活躍を期待しているので頸城区地域協議会は女性委員が1/3 ぐらいになるよう率先して応募してほしいし、関係機関も後押ししてほしい。

A1 市は応募を受ける立場なので、市のほうから声かけはできないが、本日は町内会長も多数お見えのようであるので、適任と思われる人がいたら、男女関わらず公募の情報をつなげてほしい（事務局）

Q2 協議会委員は無報酬で頑張っておられるが、1 回当たりの審議時間はどれぐらいか。

A2 内容によって幅はある、30 分の時もあるが、2 時間かかるときもある。平均すれば1 時間から1 時間30 分ぐらいで、効率よく審議されている（所長）

Q3 防災士会さんから発表があったが、防災対策は地域の課題。防災士の資格がある方から、地域にそのノウハウを教えてもらう会を催してほしい。

A3 おっしゃるとおりなので、前向きに会長に話しをする（防災士会）防災士会の立ち上げには、市も関与しているので連携とっていきたい（総合事務所）

Q4 委員任期4 年終わった段階で、各委員から成果感想を聞ける場を持つてほしい

A4 3/15 号の地域協議会だよりに各委員の4 年間を振り返った感想が記載されますのでご覧ください（事務局）